

学位論文の要旨

氏名 伊藤 悦子

〔題名〕

警察官通報により措置入院した精神障害者に対する保健所保健師の再発予防支援

〔要旨〕

本研究は、警察官通報（以下、通報）により措置入院した精神障害者が、再び通報により措置入院しないための保健師の再発予防支援を明らかにすることを目的とした。

研究1は、全国の県型保健所（以下、保健所）の精神保健担当保健師（以下、保健師）9人を対象に半構成的面接調査を実施した。都道府県の通報体制に相違があるため、調査対象は通報体制により都道府県を分類し選定した。再発予防支援に関して、質的記述的に分析し36項目を選定した。研究2は、全国の保健所の統括保健師および保健師に郵送無記名自記式質問紙調査を実施した。通報体制を把握し、探索的因子分析により再発予防支援の4因子を抽出した。精神障害者の【地域生活維持の環境整備】、【危機予知の連絡体制構築】、【入院中からの患者理解】、支援者と【共通理解を促す事例検討】と解釈した。各因子得点と通報体制とは一元配置分散分析の結果、有意差は認められなかった。研究3は、通報された精神障害者の措置入院歴と再発予防支援の関連を重回帰分析にて分析した。その結果、「精神障害者を理解する自治会のサポート体制」と「患者と支援者の共通理解を促すツールを用いた支援」の得点が高いほど措置入院歴ありの件数は少なかった。それらの実施にOn the Job Training（以下、OJT）は有意に関連していた。

以上、保健師の再発予防支援は、通報体制に関わらず、自治会のサポートを得た環境整備とツールを用いた危機予知の連絡体制構築であり、通報時から支援者と環境整備や危機予知の共通理解に努め、入院中から精神障害者を理解することであった。また、OJTは、再発予防支援に効果的であることが明らかになった。

今回、明らかにした再発予防支援を関係者に普及することにより、実践が可能となり、措置入院の再発防止、地域で問題行動を起こしている精神障害者の通報の未然防止に貢献できると考えられた。

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 1 5 7 7 号	氏 名	伊藤 悦子
論文審査担当者	主査教授	伊東 美佐江	
	副査教授	安達 圭一郎	
	副査教授	守田 孝恵	
学位論文題目名 (題目名が英文の場合は、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。) 警察官通報により措置入院した精神障害者に対する保健所保健師の再発予防支援			
学位論文の関連論文題目名 (題目名が英文の場合は、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。) 警察官通報により措置入院となった精神障害者に対する保健所保健師の再発予防支援			
掲載雑誌名 山口医学 第 69 巻 第 1 号 P. ~ (令和 2 年 3 月 掲載予定)			
(論文審査の要旨) 本論文は、精神保健福祉法に基づく措置入院制度、措置入院患者の再入院を予測する要因と再発予防、地域精神保健福祉活動の現状について概観した後、全国の保健所の警察官通報及び保健師の再発予防支援の実態を明らかにし、警察官通報により措置入院した精神障害者への保健師の再発予防支援を言及した。 第 1 章では、保健所における通報対応および警察官通報により措置入院した精神障害者に対する保健師の再発予防支援の現状を把握するために、都道府県を類型化し各類型から選定したうえで保健所において警察官通報を担当する保健師を対象として、半構成的面接調査を実施し、再発予防支援項目を抽出した。医療面の支援だけでなく、生活全般について、精神障害者自身の主体性を中心に関係者が支援し、家族や地域づくりの実態を述べた。第 2 章では、全国の保健所の統括保健師および精神保健担当保健師を対象に無記名自記式質問紙調査を行い、再発予防支援における【地域生活維持の環境整備】【危機予知の連絡体制構築】【入院中からの患者理解】【共通理解を促す事例検討】の構造を明らかにした。また、第 3 章では、地域特性を考慮した通報体制による再発予防支援の特性を明らかにしたうえで、再発予防支援と措置入院歴との関連を明らかにした。以上の結果をふまえ、措置入院歴の件数の多少により再発予防支援は異なり、通報体制に関わらず、その支援には精神障害者を理解する自治会のサポートを得た地域生活の環境整備とツールを用いた危機予知の連絡体制を構築することであり、通報時から支援者と環境整備や危機予知の共通理解に努め、入院中から精神障害者を理解する重要性を論じていた。さらに、措置入院制度の運用での保健師の役割を認識した再発予防支援に関する保健師の OJT の重要性を論じ、今後の精神障害者に対する保健師の再発予防支援研究に大きく貢献すると期待できる。 以上により、博士(保健学)の学位を授与することに値するものであり、申請者は保健学における自立して研究活動を行うことに必要な研究能力と豊かな学識を有すると認め、合格と判定する。			

備考 審査の要旨は 800 字以内とすること。